

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| | | | | |
|------------|------------|-------------------------|-------|----|
| ※受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
| 28-156 | 高等学校 | 外国語 | 英語表現Ⅱ | |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の記号・番号 | ※教科書名 | | |
| 231 いいずな | 英Ⅱ332 | be English Expression Ⅱ | | |

1. 編修の基本方針

教育基本法が求める「個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間」の育成と、「伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育の推進への貢献」を教科書編修の目標として、その編修基本方針において、教育基本法第2条の1～5号を、以下のように構成に反映させた。

1号 (幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う)

⇒①英語素材には、高校生にとって身近な「夢・将来」「文化・行事」「健康」などのほか、「情報と社会」「社会問題」など、幅広い多様なテーマや場面を取り上げた。②外国語の学習に必要な様々な側面(使用場面・4技能・ペアやグループワーク・インタビュー)を含んだタスクを用いて、言語の統合的な理解を促す構成とした。③ライティング・スピーチ・スキット・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートなどの活動を通じて、相手の気持ちを配慮しつつ意図を円滑に伝達するための知識を提供した。

2号 (個人の価値を尊重し、その能力を伸ばす・自主及び自律の精神を養う・勤労を重んずる態度を養う)

⇒①いくつかの課で、勤労に係る「夢・将来」「進路」をテーマに取り上げた。②社会人になって勤労に従事する際に有用な、伝達手法(パラグラフライティング・スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートなど)の知識を提供した。③生徒自身が目標を意識し、自ら学習意欲を向上させることを促し、学習習慣をつけることのできる紙面構成とした。

3号 (正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる・主体的に社会の形成に参画する)

⇒①社会に積極的に参画する心を育むため、「活動」「コミュニケーション」などをテーマに取り上げた。②クラス内で生徒に積極的な発言を促すタスクを課すことで、学習者の主体的な社会形成への参画を促進する構成とした。

4号 (生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う)

⇒かけがえのない環境について考えさせるため、「地球温暖化」などのテーマを取り上げて、思考したり、表現したりする活動を設けた。

5号 (伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する・他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する)

⇒言語や異文化に対する理解や関心が深まるように、「文化・行事」「世界の国々」「外国での生活」「社会的慣習」など、自国や他国の文化や習慣を述べた素材を用いた。

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---|--------------|--|--|
| 各 レ ッ ス ン 1 ペ ー ジ 目 ・ 4 ペ ー ジ | Lesson 1～21 | 高校生にとって身近な「夢・将来」「文化・行事」「健康」などのほか、「情報と社会」「社会問題」など、幅広い多様なテーマを取り上げた。 (第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。) | 各レッスンの： 1 ページ目 Warm-Up 4 ページ目 Practice |
| | Lesson 1, 13 | 勤労に係る「夢・将来」「進路」をテーマに取り上げた。 (第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。) | 9、12、73、76 ページ |
| | Lesson 9, 16 | 社会に積極的に参画する心を育むため、「活動」「コミュニケーション」など社会との関わりをテーマに取り上げた。(第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。) | 49、52、89、92 ページ |

| | | | |
|------------------|--|---|--|
| | Lesson 2、5、6、10 | 言語や異文化に対する理解や関心が深まるように、「文化・行事」「世界の国々」「外国での生活」「社会的慣習」など、自国や他国の文化、習慣を述べた素材を用いた。 (第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。) | 13、16、29、32、33、36、57、60 ページ |
| 1 ページ目 | ・ Focus on Grammar ・ TARGETS | ・ Focus on Grammar では、当該レッスンで扱う学習項目の解説をし、その記述を生徒にとって分かりやすいものにする事で、主体的に予習と復習をする学習習慣を身に付けることができるように工夫した。 ・ 生徒自身が目標を意識し、学習意欲を向上させることができるように、課の学習到達目標を TARGETS として明示した。(第2号) | ・各レッスンの1ページ目 |
| 3 ページ目 | Conversation | 各レッスン3ページ目の Conversation では、クラス内で生徒に積極的な発言を促し、身近な社会形成に参画する喜びを与えるように工夫した。 | ・各レッスンの3ページ目 ・各レッスンの4ページ目 |
| 4 ページ目 | ・ Task ・ Essay Writing ・ PAIR WORK / GROUP WORK ・ INTERVIEW | ・ 4 技能を用いて表現をする活動を有機的に組み合わせて、言語の統合的な理解を促す構成とした。 (第1号) ・ PAIR WORK と GROUP WORK では、社会形成に参画する喜びを与えるように工夫した。(第3号) | 各レッスンの4ページ目 |
| コラム 1 ページ | ・ 英語の情報構造 ・ 主語と動詞の一致 ・ 発音とアクセント ・ 英語のバリエーション他 | 言語について、幅広い知識と教養を身につける扶助となるコラムを設けた。 (第1号) | 21、37、53、69、85、101、117 ページ |
| 2 ページ コラム | ・ 文章を書いてみよう！ ・ スピーチをしてみよう！ ・ スキットを演じてみよう！ ・ プレゼンをしてみよう！ ・ ディスカッションをしてみよう！ ・ ディベートをしてみよう！ ・ パラグラフを書いてみよう！ | ・ 相手の気持ちを配慮しつつ、意図を円滑に伝達するための知識を提供した。 (第1号) ・ 社会人になって勤労に従事する際に有用な、伝達手法（ライティング・スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートなど）の知識を提供した。(第2号) ・ 127 ページでは、「地球温暖化」のテーマを取り上げ、そのことについて思考したり、表現したりする活動を含めた。(第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。) | 22-23 ページ (文章) 38-39 ページ (スピーチ) 54-55 ページ (スキット) 70-71 ページ (プレゼン) 86-87 ページ (ディスカッション) 102-103 ページ (ディベート) 118-127 ページ (パラグラフ) |
| 後 見 返 し | STUDY FLOW | 生徒自身が目標を意識し、学習意欲を向上させることができるように、学習到達目標を一覧形式で表示した。(第2号) | 後見返し |

各レッスンの1ページ目：

ページ9、13、17、25、29、33、41、45、49、57、61、65、73、77、81、89、93、97、105、109、113

各レッスンの3ページ目：

ページ11、15、19、27、31、35、43、47、51、59、63、67、75、79、83、91、95、99、107、111、115

各レッスンの4ページ目：

ページ12、16、20、28、32、36、44、48、52、60、64、68、76、80、84、92、96、100、108、112、116

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

豊かな人間性、創造性の獲得に資するため、紙面全体を通じて美しく読みやすい書体や、色彩豊かなデザイン、親しみやすいイラストを用いるように心掛けた。(学校教育法第51条)

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| | | | | |
|------------|------------|--------------------------|-------|----|
| ※受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
| 28-156 | 高等学校 | 外国語 | 英語表現Ⅱ | |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の記号・番号 | ※教科書名 | | |
| 231 いいずな | 英Ⅱ332 | be English Expression II | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

英語表現Ⅱは、基本的な構成やデザインは英語表現Ⅰと一貫性を保ちながら、英語表現Ⅰで扱った学習内容をより深く学び定着できるように編修した。各課の題材には「夢・将来」「文化・行事」といった身近なものから「利便性」「社会問題」といった高校生の興味関心に訴える深いものまで幅広い話題を扱い、学習者が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容にした。また、各Sectionの末に1ページと2ページのコラム、そして巻末にパラグラフ・ライティングを学習するページを設け、学習者が事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばせるよう意を用いた。

各レッスンの構成

各レッスンの構成は、英語表現Ⅰを踏襲して「①導入→②定着→③発展」の3ステップ(4ページ構成)とした。各ステップの内容は以下の通りである。

① 導入 授業の導入のページ。80語程度の英文を通して、レッスンで学ぶ文法と表現のしかたを学習する。

Warm-Up レッスンごとに設定したテーマで、高校生が自分の考えや経験を述べた英文の例を掲載している。英文にはレッスンで学習する文法と、テーマに関して学習者が自分の考えや経験を述べる際に役立つ表現が用いられている。

Focus on Grammar レッスンで学ぶ文法項目の基本的な内容と用法が説明されている。

Expressions テーマに関連した内容で、学習文法項目が使われた英文の例。ディクテーションと音読を行う。

② 定着(文法学習) 学習ポイントとなる文法項目をクローズアップして、理解・定着を促すコーナー。文法項目の多くは英語表現Ⅰで学習しているものだが、英語表現Ⅱでは、表現という観点から整理をし直して提示し、より深く理解し、定着できるように工夫している。例えばLesson1では「時の表し方」という観点で、伝えたい内容に応じて適切な動詞の時制(現在・過去・未来・大過去など)を用いることを学習するようになっている。

③ 発展 レッソンのテーマに沿って、学習者が自らの考えや経験を発信することをねらいとしたコーナー。4技能を総合的に用いて取り組む構成となっている。

Task レッソンのテーマに関連し、実社会で遭遇するような場面で(海外の高校での講義、ホームステイ先への手紙、外国の都市での道案内、統計の説明など)、60~80語程度の英文が、リーディングやリスニングなど多様な形式で提示される。それを読んだり聞いて理解し、その内容について、自分自身の意見や経験をクラスに発表したりクラスメートと情報交換したりする。

Essay Writing レッソンのテーマに関連した題目が与えられ(例えばLesson1では「夢・将来」というテーマを受けて「10年後の自分は何をしているか」という題目)、自分自身の考えを80~100語の英文で書く。

この3ステップ(4ページ)構成の特長の1つは、ステップごとに何を学ぶのか目的が明確で、教師にも学習者にも、学習の開始からゴールまでの過程が分かりやすくなっていることである。



学習到達目標の提示

上記に加えて、レッスンごとの学習到達目標を TARGETS、Section ごとの学習到達目標を STUDY FLOW として提示することで、学習者に英語で表現する意欲と主体性を持たせることに意を用いた。

- TARGETS・・・各レッスンの1ページ目に掲載。当該レッスンの学習到達目標をチェック欄とともに提示。
- STUDY FLOW・・・教科書の後見返しに掲載。Section 1～7の7段階の学習到達目標をチェック欄とともに一覧で提示。

レッスン以外のページ

- ・表見返し： 英語による授業に活用できるよう「コミュニケーションにつながる英語表現」をまとめて掲載した。
- ・1ページコラム： 各Section末に1ページのコラム（「英語の情報構造」・「主語と動詞の一致」・「発音とアクセント」・「英語のバリエーション」等）を設け、それを通して言語や文化に対する理解を深めることのできる知識を提供した。
- ・2ページコラム： 各Section末にもう1種類、2ページのコラムを設け、スピーチ・スキット・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベート・パラグラフライティング等、英語表現力を高めるのに必要な表現手法を紹介した。
- ・パラグラフを書いてみよう！： 巻末に設けた合計10ページのコーナーで、英語のパラグラフを書く際の基本的知識と、4種類のパラグラフの典型（「描写・説明」「比較・対照」「因果関係」「問題解決」と、書き方を紹介した。

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当時間 |
|---------------------|------------------------------|--|-------------|----------------------------|
| 表見返し | コミュニケーション につながる英語表現 | 【第3款 英語に関する各科目に共通する内容等 4】 授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。 | 表見返し | 1 単元時間 |
| 各レッスン | | | | |
| 1 ページ目 | Warm-Up | 【第3款 英語に関する各科目に共通する内容等 1】 言語の使用場面や言語の働きを適宜取り上げ、有機的に組み合わせ活用する。 【言語の使用場面の例】 買い物、旅行、手紙や電子メールのやりとり、家庭での生活、地域での活動、情報通信ネットワークを活用し情報を得ること など 【言語の働きの例】 言い換える、説明する、描写する、仮定する など 【2 内容 (2)ーア】 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話したりすること。 | 各レッスンの1ページ目 | 2 単元時間 ×21 レッスン=42 単元時間 |
| | Focus on Grammar Expressions | 【3 内容の取扱い】 (1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。 (2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。 (3) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を体験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。 | | |
| 2 ページ目・3 ページ目 | Grammar and Expressions | 【第3款 英語に関する各科目に共通する内容等】 2 各科目の2の(1)に示す言語活動を行うに当たっては、中学校学習指導要領第2章第9節第2の2の(3)及び次に示す言語材料の中から、それぞれの科目の目標を達成するのにふさわしいものを適宜用いて行わせる。 | 各レッスンの2ページ目 | |
| | Exercises | ア(ア) 語一d 生徒の学習負担を踏まえた適切な語 ア(イ) 連語及び慣用表現のうち、運用度の高いもの イ 文構造のうち、運用度の高いもの ウ 文法事項 | 各レッスンの3ページ目 | |
| 4 ページ目 | Task Essay Writing | 【3 内容の取扱い】 (1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。 (2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。 (3) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を体験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するもの | 各レッスンの4ページ目 | 1 単元時間 ×21 レッスン=21 単元時間 |

| | | | | |
|---|-----------------------------|---|----------------------------|---------------------------|
| | | とする。 【第3款 英語に関する各科目に共通する内容等 1】 言語の使用場面や言語の働きを適宜取り上げ、有機的に組み合わせて活用する。 【言語の使用場面の例】 買物、旅行、手紙や電子メールのやりとり、家庭での生活、学校での学習や活動、地域での活動、テレビや映画などを観ること、情報通信ネットワークを活用し情報を得ること など 【言語の働きの例】 説明する、描写する、理由を述べる、要約する、賛成する、反対する、主張する、仮定する など | | |
| | Essay Writing | 【2 内容 (1)ーイ】 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 | | |
| | PAIR WORK / GROUP WORK | 【第4款 内容の取扱いに当たっての配慮事項 2 (4)】 ペア・ワーク、グループ・ワークなどを適宜取り入れたりすること。 | | |
| | INTERVIEW | 【2 内容 (1)ーア】 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 | | |
| 1ページ目 | 英語の情報構造・主語と動詞の一致・発音とアクセントほか | 【第1款 目標】 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 | 21、37、53、69、85、101、117 ページ | 2 単元時間 × 7 回 = 14 単元時間 |
| 1ページ目・2ページ目 | 文章を書いてみよう！ | 【2 内容 (1)ーイ】 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 【2 内容 (2)ーイ】 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。 | 22-23 ページ | 2 単元時間 |
| | スピーチをしてみよう！ | 【2 内容 (1)ーウ】 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。 【2 内容 (2)ーウ】 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 | 38-39 ページ | 2 単元時間 |
| | スキットを演じてみよう！ | 【2 内容 (1)ーア】 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 【2 内容 (2)ーア】 音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。 | 54-55 ページ | 2 単元時間 |
| | プレゼンをしてみよう！ | 【2 内容 (1)ーウ】 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。 【2 内容 (2)ーウ】 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 | 70-71 ページ | 2 単元時間 |
| | ディスカッションをしてみよう！ | 【2 内容 (1)ーウ】 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 【2 内容 (2)ーエ】 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。 | 86-87 ページ | 2 単元時間 |
| | ディベートをしてみよう！ | 【2 内容 (1)ーエ】 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 【2 内容 (2)ーウ】 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 | 102-103 ページ | 2 単元時間 |
| 巻末 | パラグラフを書いてみよう！ | 【2 内容 (1)ーイ】 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 【2 内容 (2)ーイ】 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。 | 118-127 ページ | 2 単元時間 × 5 回 = 10 単元時間 |
| | | | 計 | 100 単元時間 |
| 各レッスンの1ページ目： 9、13、17、25、29、33、41、45、49、57、61、65、73、77、81、89、93、97、105、109、113 ページ | | | | |
| 各レッスンの2ページ目： 10、14、18、26、30、34、42、46、50、58、62、66、74、78、82、90、94、98、106、110、114 ページ | | | | |
| 各レッスンの3ページ目： 11、15、19、27、31、35、43、47、51、59、63、67、75、79、83、91、95、99、107、111、115 ページ | | | | |
| 各レッスンの4ページ目： 12、16、20、28、32、36、44、48、52、60、64、68、76、80、84、92、96、100、108、112、116 ページ | | | | |